

9月定例議会 町政報告

町政報告要旨

▼令和7年度普通交付税交付額の決定

町の普通交付税交付決定額は19億4,518万5千円で、前年度当初算定額17億5,991万1千円と比較し、1億8,527万4千円・10・5%の増となりました。

基準財政需要額は、公債費における臨時財政対策債及び過疎対策事業償還費の減などの減少要因があったものの、高齢者保健福祉費におけるサービス利用人数の増や、包括算定経費における補正係数や単位費用の増により、対前年度比1・5%の増となりました。

基準財政収入額は、法人税割を主な要因とする市町村民税の減少が大きく影響し、前年度比14・0%の減となりました。
基準財政需要額が増加した一

方で、基準財政収入額が減少したことにより、普通交付税決定額は前年度比10・5%の増となりました。

令和7年度予算において、普通交付税額は16億3千万円を計上していますが、既決予算額に対する留保財源は3億1,518万5千円となっています。

▼8月19日からの大雨の状況

8月19日から21日未明にかけて、前線の影響により東北北部地方の各地で記録的な大雨となりました。

町では、藤原に設置してある雨量計で降りはじめからの総雨量が190ミリに達し、観測史上最大となる24時間降雨量を記録しました。

また、十和田湖畔休屋地区では、20日17時30分までの24時間降雨量が246・5ミリと、平年の8月一分分に相当する雨量を記録したことから、隣接する

休平地区でも、同様の激しい雨に見舞われたものと考えています。

幸いにして、人的被害や建物被害の発生はなく安堵したところですが、道路では、町道や十和田湖畔の国道103号、454号で土砂崩れや倒木が数件発生したほか、両国道では24時間降雨量が基準である180ミリを超えたため、規定による通行止めの措置がとられていました

が、8月21日までにすべて復旧しています。

▼町長と語る会

公約に掲げた「町民が主役のまちづくり」の実現と、町が目ざす将来像である「ひとと自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち」に向けて、より多くの町民からの意見などを施策に反映し、また、積極的にまちづくりに参加してもらうために、「町長と語る会」を8月19日から

25日まで4会場で開催し、総勢41名の方に参加してもらいました。

町からは、町長、副町長、各課長等が出席し、はじめに5期目の公約に掲げた4年間で実現したいと考えていること等について話した後、これからのまちづくり等について参加者と意見交換を行いました。

参加者からは、「道路・河川の整備・保全」、「道の駅『十和田湖』の周辺整備」、「サンホーム大石平の移転整備」、「町中心部の再開発」、「鳥獣被害防止対策」、「空き家対策」、「雪対策」、「自治会運営」、「小坂マリア園について」、「文化財の保存・活用」など、様々な提言や意見を話してもらいました。

町民から寄せられた意見等については、今後の施策や第6次小坂町総合計画後期基本計画策定の参考にします。

令和7年第5回小坂町議会が9月4日から12日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等9議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

また、「定期的にきてほしい」という声も聞かれましたので、今後も開催方法を工夫しながらできる限りきめ細かに足を運んで、町民の皆さまとの対話を重ねたいと思います。

主な議決事項

- 条例改正
- ◆ 小坂町印鑑条例
- 認定
- ◆ 令和6年度一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算及び下水道事業会計決算
- 任命・選任
- ◆ 人権擁護委員候補者の推薦
- ◆ 小坂町教育委員会の委員任命
- 補正予算
- 【令和7年度】
- ◆ 一般会計(第4号)
- ◆ 国民健康保険特別会計(第1号)
- ◆ 介護保険特別会計(第2号)
- ◆ 歯科診療所特別会計(第1号)
- ◆ 中小企業従業員退職金等共済事業特別会計(第1号)